

【教育目標】「多様な主体性を育み、自己実現できる子ども」

めざす子ども像

【学力】

主体性をもち「遊び・生活・活動」を進めていく子ども

目 標

・1人1人が主体性をもち自ら考え行動する力を育成する。  
・自ら遊びを選んだり生活したりする中で、正しい規律と組織性を身につけながら生活リズムを定着する。

【具体的な取り組み】

①友達や先生と夢中になって遊べるように環境の構成を工夫します。  
②野菜栽培や小動物の飼育、収穫した野菜の調理や食事会、季節探しの散歩など、心揺さぶられる直接体験をします。その中で豊かな感性を培いながら知的好奇心や探求心を育て、仲間意識が芽生えるようにします。

【数値目標】

○「園生活が楽しいと感じ伸び伸びと過ごしている」90%以上  
○「自分の遊びを見つけたり、友だちと活動を進めたりしている」90%以上  
○「栽培活動、散歩などの体験活動を通し、喜んで参加したり楽しさを感じたりしている」90%以上

家庭・地域・保育所(園)・小学校・中学校との連携

家庭訪問や懇談会、通信やアプリ、掲示などで、子どもたちの様子や取り組みなどをきめ細かく伝えます。地域にも幼稚園だよりやホームページなどで情報発信と共有に努めます。80%以上

【人権】

対話を通して学びを深め豊かな心をもつ子ども

目 標

・生命の大切さに気づき、自分の気持ちを表現したり、相手の気持ちを思いやったりする力を育てる。  
・自立と協同の態度や道徳性の芽生えを培う。

【具体的な取り組み】

①様々な人との関わりや多様な経験を通して、自分の気持ちを表現したり相手の気持ちを思いやったりできるようにかかわります。  
②絵本、ペープサート、気持ちカードなどを使い、相手の気持ちにふれる経験を積み、人の気持ちや思いに気づける豊かな感性を身につけます。

【数値目標】

○「自分なりの方法で気持ちを伝えている」80%以上  
○「絵本を見たり選んだりすることが楽しい」と思う80%以上  
○「自分の好きな絵本がある」80%以上  
○「少しでも人の気持ちに気づくようになっている」80%以上

教職員が自己発揮できる活気に満ちた職場づくり

教職員が心身ともに健康で働き、笑顔で子どもたちと向きあえるように業務内容の工夫と整理をします。教職員1人1人の話を傾聴して悩みを一緒に解決して支援します。80%以上

【キャリア】

自分の目標をもち自己実現する子ども

目 標

・日々の遊びやさまざまな運動を通し、心身ともに健康でしなやかな身体をつくる。  
・遊びや活動の中で自分の目標をもち自己実現できる幼児を育てる。

【具体的な取り組み】

①思わず体を動かしたくなるような環境をつくり、毎日の楽しい運動を充実させます。  
②1人1人の幼児の成功体験ができるよう教師がかかわり意欲・自信をもてるようにします。  
③当番活動・係活動・グループ活動、異年齢活動の充実を図ります。その中で、生活と労働が結びついていることに気づきます。

【数値目標】

○「体を動かすことが楽しいと感じている」80%以上  
○「遊びや活動の中で自分なりに興味をもって取り組んだり、挑戦したりする」80%以上  
○「生活する中でいろいろな人が働いていることに気づく」80%以上